

2019年  
2月

# 県内景況・確報

◎概況

## 県内景況は、拡大している

### ●2019年2月 おきぎん「カトレア」景況図●

#### 県内景況



良い

#### 個人消費



やや良い

#### 建設関連



良い

#### 観光関連



やや良い

#### 生産動向



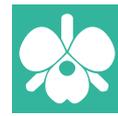
ふつう

#### 企業倒産



やや良い

#### 雇用状況



良い

2月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を上回りました。新車販売台数は、前年同月を上回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は、国やその他の公共的団体などによる発注工事の増加などで前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を下回り、建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは下回りました。

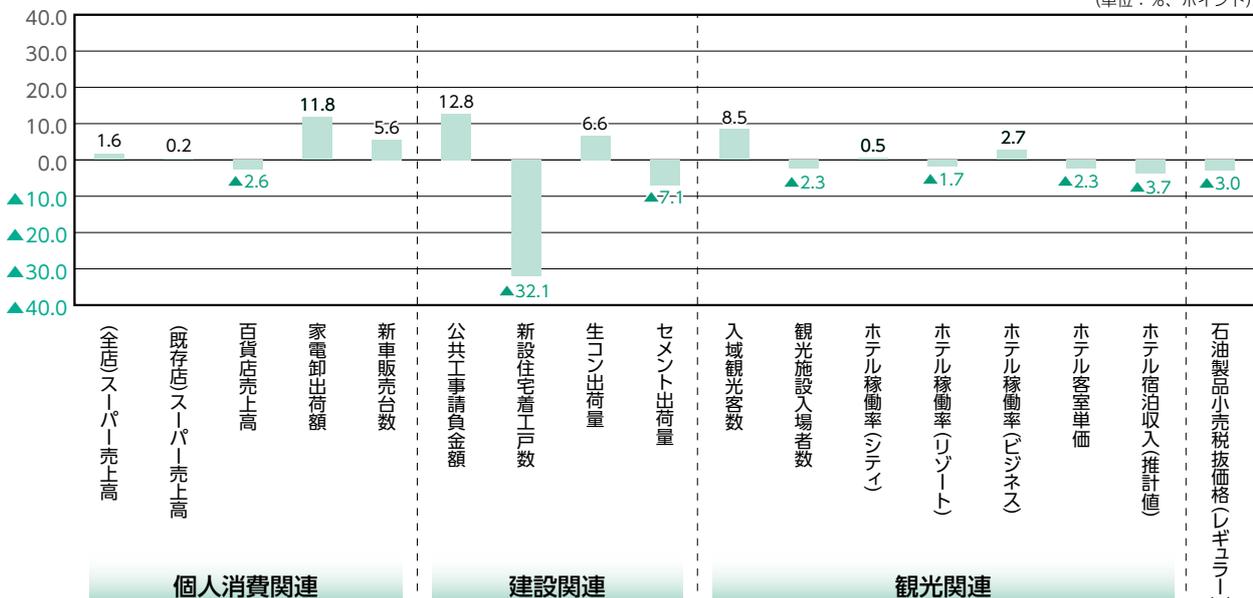
**観光関連**では、入域観光客数は5ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入（推計値）も下回りました。

このような状況に鑑みて、**個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連では堅調な動きが継続していること**などから「**県内景況は拡大している**」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から61ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





# 個人消費



(やや良い)

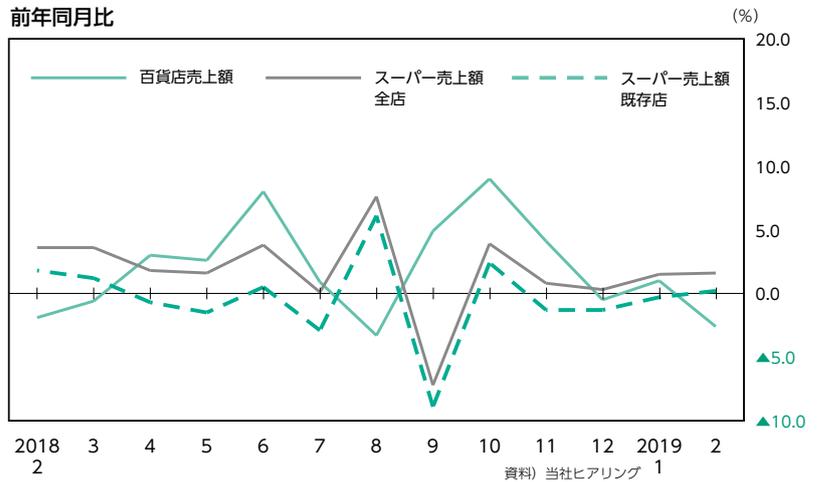
## ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

2月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比1.6%増）」は、新規出店効果などにより、「食料品（同1.6%増）」、「家庭用品（同3.0%増）」の売上が伸び、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース（同0.2%増）」は、4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同0.3%減）」は、暖冬の影響で鍋物関連の商材の売上が伸び

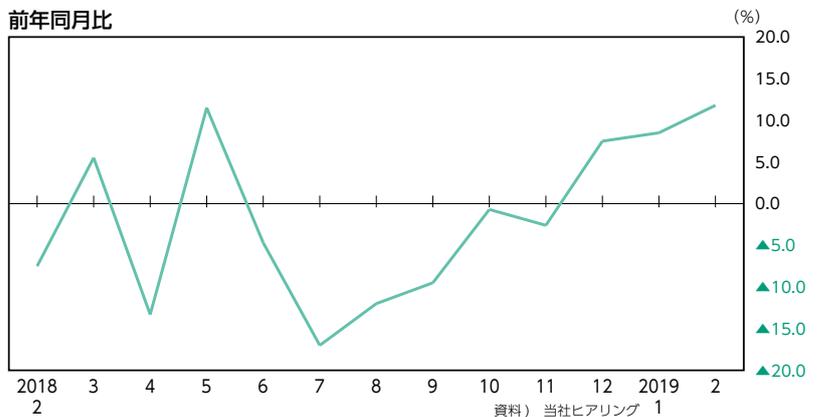
ず、前年同月を下回りました。一方、家電を含む「家庭用品（同1.8%増）」は、テレビなど家電の売上が伸び、前年同月を上回りました。また、「衣料品（同0.0%）」は、暖冬の影響がみられたものの、販促企画が好調だったことから、前年並みとなりました。

百貨店売上高は、暖冬の影響などにより、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました（同2.6%減）。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品（同10.2%減）」は、販促企画を開催するも、前年に比べ気温が高く推移したことにより「紳士服（同7.3%減）」、「婦人服（同11.9%減）」「子供服（同22.3%減）」などで冬物商材の売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。靴、バッグなどの「身の回り品（同12.1%減）」は、売り場面積が縮小したことなどから売上が減少し、前年同月を下回りました。一方、「食料品（同0.4%増）」は、お菓子類、調味料等のギフト需要が増加し、前年同月を上回りました。また、「雑貨（同4.8%増）」は、売り場のリニューアル効果などにより、前年同月を上回りました。



## ② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は3ヵ月連続で前年同月を上回る。

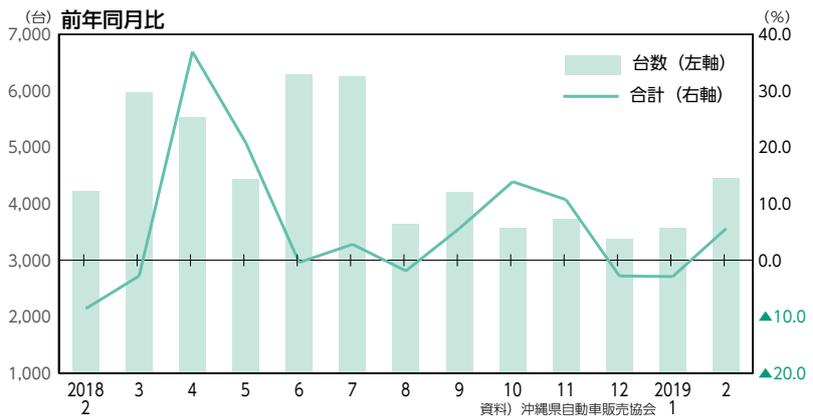
家電卸出荷額は、白物家電やエアコンの売上が伸び、3ヵ月連続で前年同月を上回りました（同11.8%増）。品目別では、「テレビ（同11.9%減）」は、高価格帯商品の売上が伸び悩み、前年同月を下回りました。一方、「冷蔵庫（同14.8%増）」、「洗濯機（同22.3%増）」、「エアコン（同5.1%増）」は、新設需要および買い替え需要が好調だったことから、前年同月を上回りました。



### ③ 新車販売台数…新車販売台数は、3ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で4,457台（同5.6%増）となり、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同2.7%減）」は自家用車需要が低調だったことから、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。一方、「小型乗用車（同19.3%増）」は、自家用車需要やレンタカー需要が増加し、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。また、「軽乗用車（同0.1%増）」は、自家用車需要が好調だったことから、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

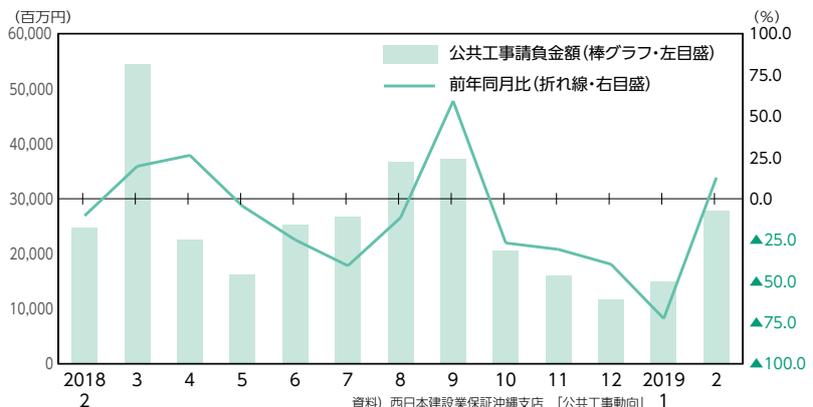
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



## 建設関連 (良い)

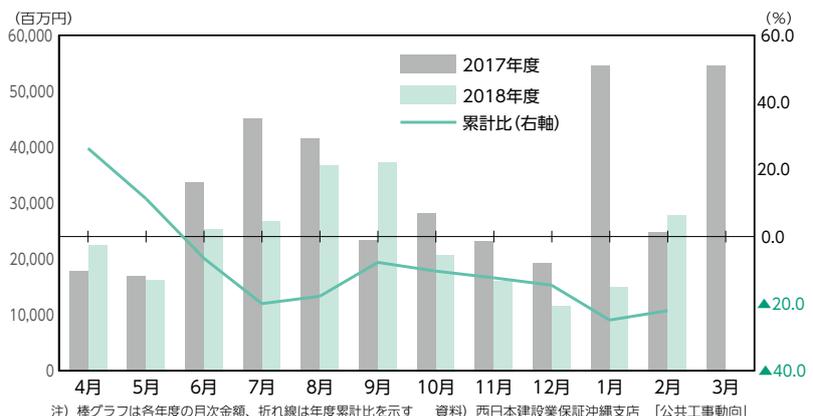
### ① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

2月の公共工事請負金額は、前年同月比12.8%増の278億3,300万円となりました（5ヵ月ぶり増）。発注者別で見ると、「国（同16.9%増）」のほか、「独立行政法人等」や「市町村（同0.4%増）」、「その他の公共的団体（同39.7%増）」は前年同月を上回りましたが、「沖縄県（同11.4%減）」は下回りました。



### 【参考】公共工事（年度累計）…公共工事請負金額は前年同期を下回る。

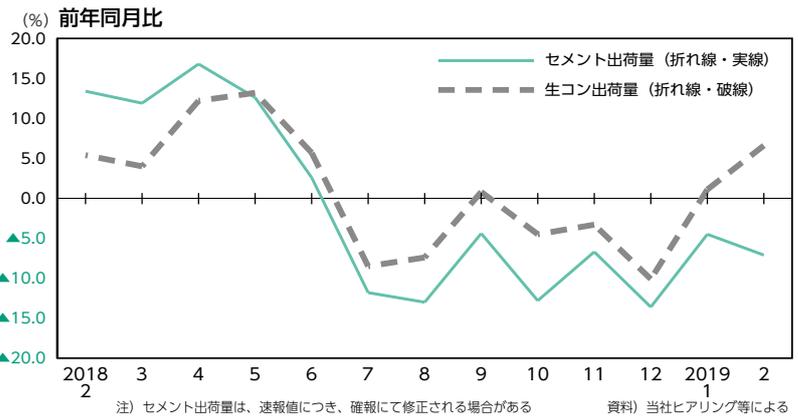
今年度累計値では、22.1%減となっています。（右記折れ線グラフ）





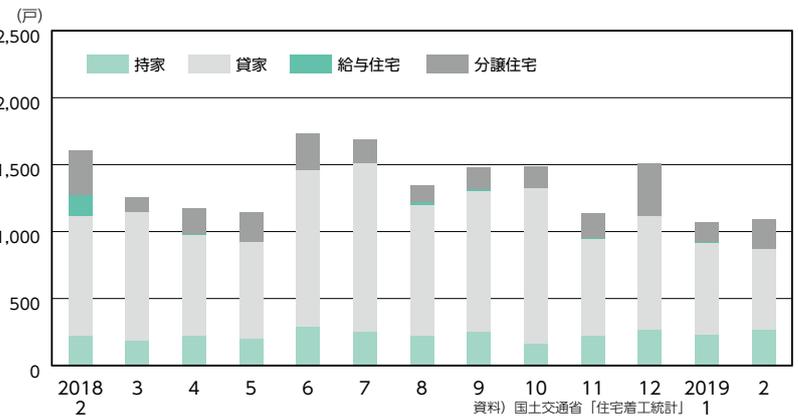
## ② 建設資材…生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は6.6%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より6.0%上回り、民間工事向け出荷も6.9%上回りました。セメント出荷量は7.1%減と8ヵ月連続で前年同月を下回りました。



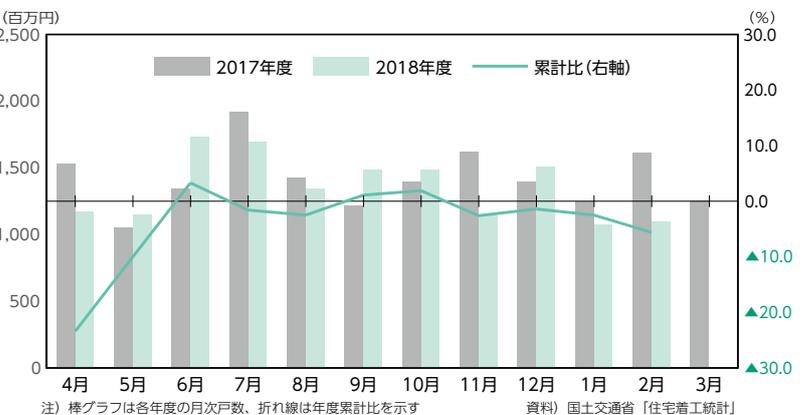
## ③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を下回る。

新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比32.1%減の1,093戸と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家（同31.9%減）」のほか、「給与住宅（同100.0%減）」や「分譲住宅（同32.9%減）」は前年同月を下回りました。一方で、「持家（同17.9%増）」は上回りました。



### 【参考】住宅投資(年度累計)…2月までの着工戸数は前年同期を下回る。

年度累計で見ると、2月までの累計値で5.6%減となっています。

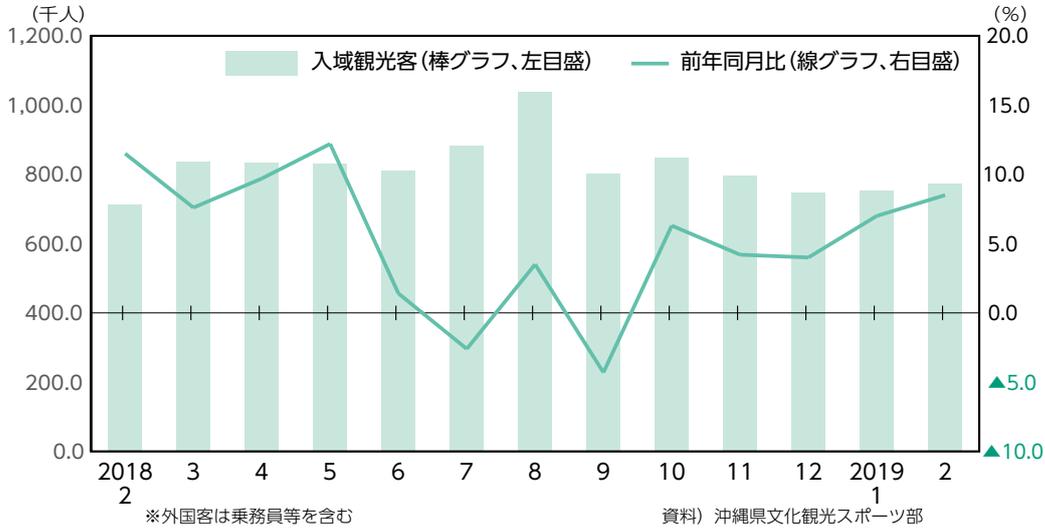


観光関連

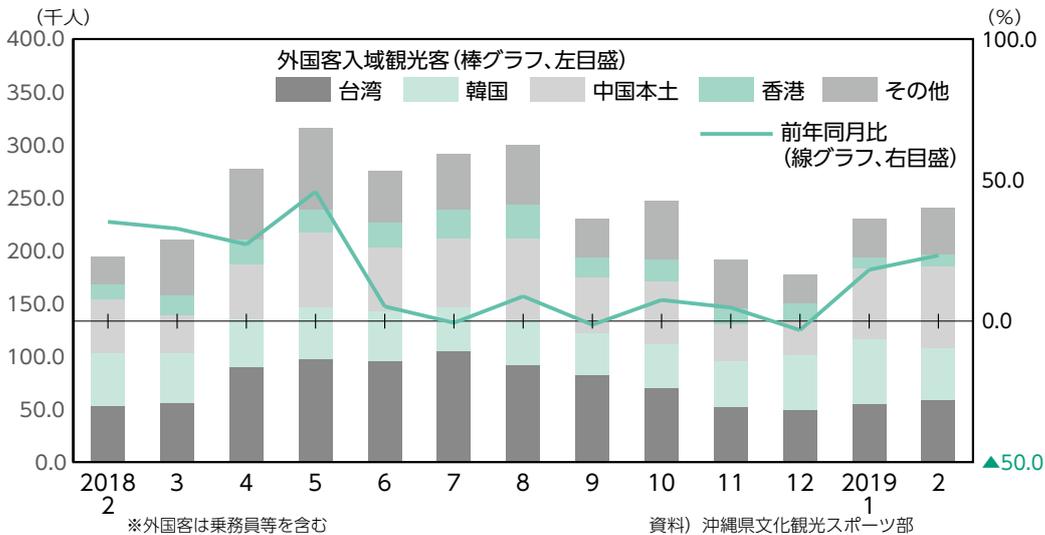


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…5ヵ月連続で前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…2ヵ月連続で前年同月を上回る。



2月の入域観光客数は、60,800人多い772,200人(前年同月比8.5%増)となり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました(2月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同3.0%増)」は532,100人と、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していたことや、スポーツキャンプ見学や各種イベントがあったことなどから、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同23.3%増)」は、240,100人と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。春節休暇による旅行需要の高まりや、クルーズ船の寄港が増加したことなどから、前年同月を上回りました。

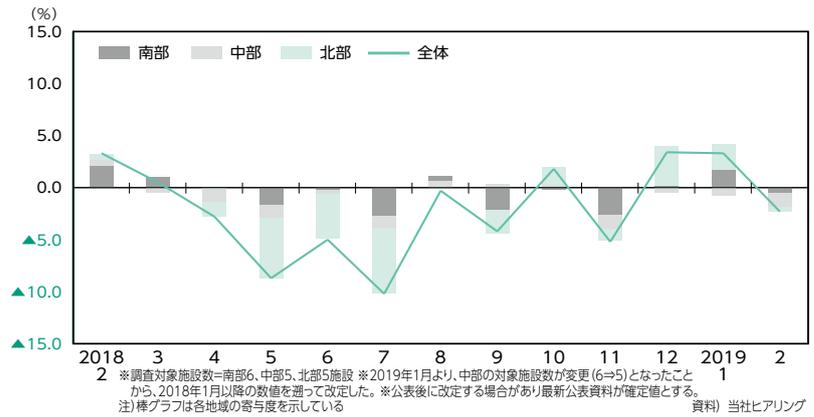
「台湾(同10.3%増)」「韓国(同0.8%減)」「中国本土(同49.9%増)」「香港(同19.9%減)」

※乗務員等を除く2019年2月実績=全体740,100人(同6.7%増)、外国客208,000人(同17.3%増)、国内客は変わらない。



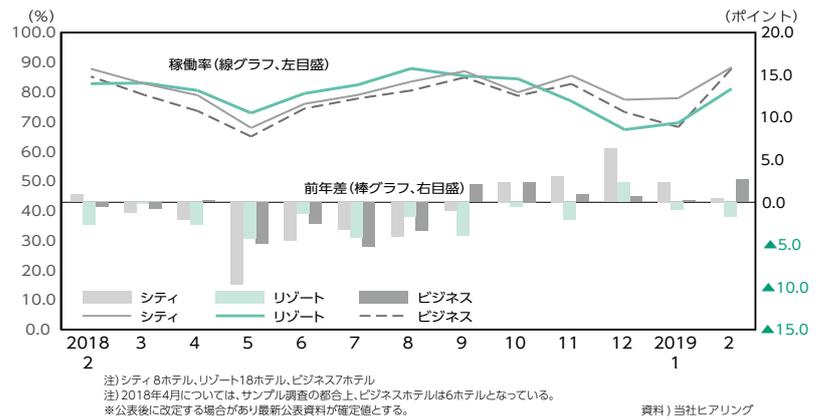
## ② 観光施設入場者数…3ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より2.3%減少（3ヵ月ぶり）しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同1.4%減と3ヵ月ぶり、中部は同11.2%減と4ヵ月連続、北部は同1.1%減と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。



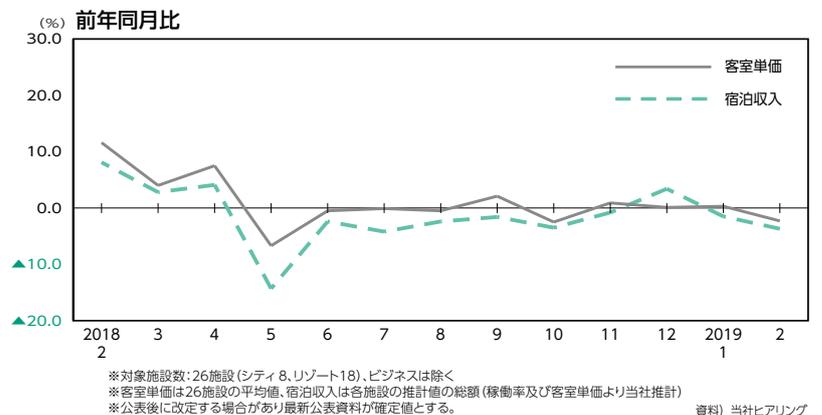
## ③ ホテル稼働率…シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが88.3%と0.5ポイント上昇（5ヵ月連続）、リゾートホテルが81.1%と1.7ポイント減少（2ヵ月連続）、ビジネスホテルが87.9%と2.7ポイント上昇（6ヵ月連続）しました。



## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。

ホテル客室単価（シティ&リゾート）は前年同月比2.3%減と前年同月を下回りました。宿泊収入も同3.7%減と前年同月を下回りました。





企業倒産

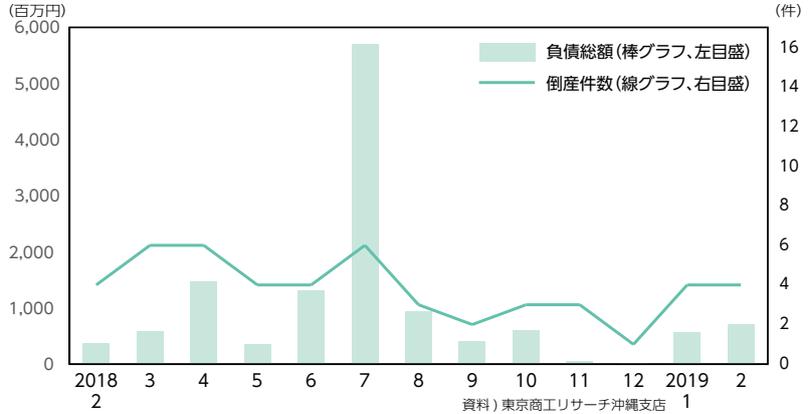


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

2月の企業倒産件数は、4件（うち大口倒産は3件）となり、前年同月と同数となりました。

負債総額は7億800万円となり、前年同月より93.4%増となりました。



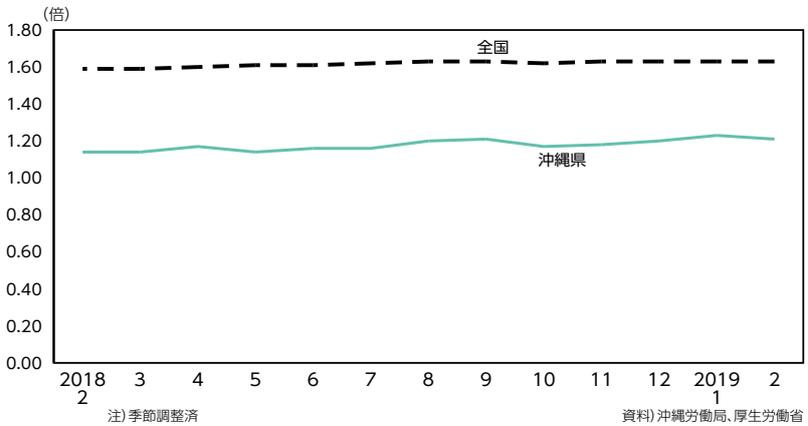
雇用関連



(良い)

有効求人倍率…沖縄は前月より低下、全国は同水準。

2月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）は前月比0.7%減の30,554人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.6%増の25,253人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.21倍となり前月より0.02ポイント低下しました。



完全失業率…沖縄、全国はともに前月より低下。

2月の完全失業率（季節調整値）は、2.0%となり前月より0.8ポイント低下しました。

